

## 議長定例記者会見（H27.10.9）

### （報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

まず初めに、9月定例会採決結果について報告します。

知事提出議案49件のうち平成27年度青森県一般会計補正予算案を含む議案20件を可決・同意し、決算案を含む5件を継続審査とし、報告のみが24件ありました。

議員発議案については、2件が可決となり、5件が否決となりました。

議員派遣については、海外派遣1件・国内派遣3件が可決されました。

次に、議会広報紙の発行について申し上げます。

議会広報紙については、阿部前議長から、本年2月の広報図書委員会からの答申を踏まえ、今年度から定例会ごとに発行するよう引継ぎを受け、引き続き、広報図書委員会において具体的な検討を重ねてまいりました。

先般、同委員会の山谷委員長から、議会広報紙の名称、掲載項目、基本仕様、編集方針等について報告を受けたところであり、いよいよ、今定例会から発行できる運びとなりました。

広報紙の名称は、県議会だけが漢字、あとは平仮名で

「あおもり県議会だより」であります。

私ども県議会といたしましては、議会ホームページや本会議のインターネット中継に加え、「あおもり県議会だより」を通じて、議会にどのような政策が提案され、議論されているのかなど議会活動を分かりやすく県民の皆さまにお伝えするように努めたいと考えております。

県民の皆さまには、是非「あおもり県議会だより」をご愛読いただき、県議会に対する理解と関心を一層深めていただければ幸いです。

私からは以上でございます。

## （質問）

### ○記者

今議会では、発議案として国体の招致を全会一致で可決しましたが、それについて議長の所感を伺います。

### ○清水議長

国体は、あと10年ですね。

都道府県持ち回りの開催も2回目でありまして、残された県はそうないと聞いております。

今までの国体のあり方としては、国体を契機にいろいろな施設整備をするという具体的なメリットがあったわけですが、最近ではメリットといえれば大変失礼なんですけど、そういうことがなくなってきた、財政負担も多くなってきたということで、開催地の選考が難航している状況だと聞いております。

しかし、青森県は近年国体の成績が、他県に比べればずいぶん落ち込んできていますので、国体の招致を決めた今、これから10年先を見据えて、施設整備はもちろんですが、選手の強化などやっていただきたいと、そういう強い気持ちでおります。

10年といってもすぐですから、特に人材の育成は、今日・明日と簡単にできるわけではありませんので、用意周到にやっていただきたいと思っています。

たとえば、青森山田高校ですね。

新体操の種目で強いチームを持っているのですが、国体の種目に新体操がないですからね。

オリンピック種目には新体操があるのですから。

青森県が新体操の種目が強いからやってくれというわけではなくて、新体操の底辺を広げて各県に波及させていきたいと、そういう思いで取り組んでいただきたいと考えています。

それは、一つの種目だけというわけではありません。

私はかつて選手だったからといって言うわけではありませんが、レスリングは日本のお家芸でありますし、青森県もたくさんのすばらしい選手を輩出していました。

特に女子が最近、目立つようでありますけれども、男子も良い選手がたくさん出ているのです。

そういうこともあり、ぜひ、いろいろな種目で選手の強化をして、国体を通じてオリンピックを目指す選手を育成していただきたいと思っています。

## ○記者

JRの特急列車の廃止により、青い森鉄道の経営状況が厳しいように予想されるのですが、県議会として国に

対してどのように対応していくのか、県議会の先頭に立つ議長としての姿勢を教えてください。

### ○ 清水議長

寝台特急「北斗星」が8月22日で運行を廃止したのに引き続き、寝台特急「カシオペア」も、来年3月26日の北海道新幹線開業に合わせて廃止されることが発表されました。

青い森鉄道や県にとって、大変厳しい見通しとなる見込みであります。

整備新幹線の開業に伴いJRから経営分離された青い森鉄道線は、地域住民の重要な交通手段であり、貨物列車が通る国家物流の大動脈としての重要な役割を果たしているにもかかわらず、赤字路線を引き継いだ青い森鉄道株式会社は、毎年約7億円の線路使用料を全額県へ支払うことができず、多額の線路使用料を減免することにより県が経営を支えているという現状であります。

平成28年度以降は、その貴重な旅客運輸収入のうち約2割を占める寝台特急列車の運賃等収入が見込めなくなることから、県議会としても、大変ゆゆしき事態になると考えております。

当該事案については、新幹線・鉄道問題対策特別委員会に付託されております。

昨日行われた新幹線・鉄道問題対策特別委員会においては、各委員から様々な意見を伺ったと聞いております。その上で、決定した事項としては、

- ① 北海道新幹線新青森・新函館北斗間の青函共用走行問題については、北海道と合同で国へ要請を行うこと
- ② 青い森鉄道の減収問題については、執行部とともに国へ要請を行うこと
- ③ 奥津軽いまべつ駅への停車本数の確保については、関係機関へ要請を行うこと

以上のとおり、今後要請を行うものであると聞いています。

県議会としても、速やかに対応していきたいと考えております。

余談ですが、この間、十和田で「B-1グランプリ」がありまして、私は行けなかったのですが、30万人が来場したと聞いております。

それ以前には、八戸で青年会議所の全国大会があったなど、最近、いろいろなイベントが行われており、青森県に全国からたくさんのお客さんが来ていただいております。

八戸の朝市においては、「全国朝市サミット」が開催されるということで、17日がレセプション、18日は朝市に全国から20店ぐらい全国から集まる予定になっております。

青森県としてもこれから、いろいろな仕掛けをしていかなければならないと思っています。

青森県が全国から置いてけぼりにされないために、元気を出して、いかにすれば青森県に全国から人が集まるか考えていかなければならないと思っています。

知事だけが頑張っても大変なので、みんなが知事にな

ったつもりで頑張っていたいただきたいと思っていますので  
よろしくお願ひします。

以上です。